こどもと楽しむ伝統行事

二分の一成人式

今年、長男が 10 歳を迎えました。学校では 2 分の 1 成人式をするそうで、親子で長男のこれまでのあゆみについて話し合ってみました。

2 分の 1 成人式とは、成人の 2 分の 1 の年齢である 10 歳を迎えたことを記念して学校や地域で行われる行事・儀式です。学校では、小学校 4 年生を対象に、子どもから親への感謝の手紙の発表や「2 分の 1 成人証書」の授与、合唱等が行われるようです。（※ウィキペディアより一部抜粋しました）

母からすればあっという間の 10 年、子からすればまだ 10 年。

あんなに小さかったわが子が、いつの間にか私の背丈に近づいているではありませんか！そういえば、靴や着る服もかなり大きくなりました。

身体だけではありません。言うことも覚えたてのことわざや四字熟語を用いて喋ったりと、少し大人ぶったりもしています(笑)。

家庭だけでなく、幼稚園、小学校とこれまで歩んできた日々、色んな環境の中で揉まれ、精神的にも鍛えられてきたように思います。

元々、人に優しくできる子でしたが、優しいがゆえに相手を傷つけてしまわないかと思い自分の意見を飲み込むところがありました。ですが、最近は嫌なことは嫌とはっきりと、だけどなるべく相手が傷つかない言葉を探して伝えたりもできるようになり、内面もずいぶん成長したように感じます。

当の本人はと言いますと、小っ恥ずかしいというか照れくさいようですが、生い立ち写真を見ながら「こんなに小さかったんやねー」「赤ちゃんってみんな可愛い…」「これは覚えてる」「引越していった子は今元気にしてるかな？」等、色々呟いていました。

長い人生の中で子が親元にいるのはほんの短い期間なのだなぁと、改めて考えると感慨深いです。

これから思春期になって、反抗的な態度をとることもあるのだろうけど、残り少ない一緒に居られる時間、大事に過ごして行けたらと思います。